

令和元年度第2回研究推進委員会(放射線安全規制研究戦略の推進事業)

議事概要

1. 日 時 令和2年2月14日(金) 10:00～12:00

2. 場 所 原子力規制委員会 庁舎内

3. 出席者

原子力規制委員会 担当委員

伴 信彦 原子力規制委員会委員

外部有識者(五十音順)

石川 徹夫 公立大学法人福島県立医科大学医学部 教授

高橋 知之 国立大学法人京都大学複合原子力科学研究所 准教授

中村 吉秀 公益社団法人日本アイソトープ協会医薬品部
医薬品・試薬課 シニアアドバイザー

古田 定昭 株式会社ペスコ 中部事業所長

原子力規制庁職員

大熊 一寛 放射線防護企画課 課長

宮本 久 安全規制管理官(放射線規制担当)

田中 桜 放射線防護企画課 企画官

小此木 裕二 監視情報課 企画官

大町 康 放射線防護企画課 課長補佐

小林 駿司 放射線防護企画課 係長

本間 俊充 放射線防護企画課 放射線防護技術調整官

中村 尚司 放射線規制部門 技術参与

外部有識者(オブザーバー)

吉田 浩子 国立大学法人東北大学大学院 薬学研究科
ラジオアイソトープ研究教育センター 准教授

原子力規制庁職員(オブザーバー)

平瀬 友彦 放射線防護企画課 専門職

4. 議 事

(1) 新規課題の採択に係る審査 [1次審査]

- ① 重点テーマ「原子力・放射線緊急事態における被ばく評価手法に関する研究」に係る応募課題の1次審査
- ② 重点テーマ「原子力災害に対する防護措置のリスク・ベネフィット評価」に係る応募課題の1次審査
- ③ 重点テーマ「国際動向を踏まえた放射線安全規制の技術的課題に関する検討」に係る応募課題の1次審査
- ④ 重点テーマ以外に係る応募課題の1次審査

(2) 継続課題に係る審査

(3) その他

5. 議事要旨

- 今回の会合では、提案者の研究に関わるアイデア及びノウハウに係る議論をするため、研究推進委員会に関する設置運営要領第8条に基づいて非公開の扱いとし、議事概要のみを公表することとした。また、出席した委員は、申請書を通して知り得たこと及び議論の経過について守秘義務が発生していることを確認した。

- 5件の応募課題に対して、原子力規制委員会担当委員及び外部有識者による事前の評価を踏まえて出席した委員で議論を行い、3件を2次審査としてのヒアリングの対象とすることを決定した。
 - (ヒアリング対象の内訳)
 - 重点テーマ① : 応募1件中1件
 - 重点テーマ② : 応募1件中1件
 - 重点テーマ③ : 応募1件中1件
 - 重点テーマ以外 : 応募2件中0件

- 令和2年度に継続予定の8件中7件について、研究の継続を審議した結果、A評価の課題については当初の予定通りの計画で、B評価の課題については評価を踏まえて一部修正した計画で、それぞれ事業を継続することを決定した。

- 研究計画については、研究評価委員会の評価コメントを踏まえ、また、PO及びPO補佐とよく相談の上で策定することとした。

次の課題は、以下の研究推進委員会のコメントを踏まえ研究計画を策定することとした。

課題名：加速器施設の廃止措置に関わる測定、評価手法の確立

研究代表者：高エネルギー加速器研究機構 松村 宏

本研究課題は、平成29年度放射線安全規制研究戦略的推進事業の重点テーマである加速器施設に対するクリアランス制度運用のための研究として採択された課題の後継研究であるため、原点に立ち戻り、加速器施設に対するクリアランス制度運用の実現に向け研究成果をまとめること。